

関係者各位

都市生活者の農力向上委員会 99・99 西村

チームりかるちの今後について（案）

1) りかるち宣言！

明治維新以来、日本は欧米列強に追いつけ追い越せとばかりに、高度経済成長を果たし、GDP 世界第二位にまで登り詰めました。しかしそれはバブル崩壊を招き、社会は失われた20年とまでいわれる漠とした閉塞感から抜け出せないでいます。言い換えれば、その変遷は、原材料を安く輸入し、卓越した技術で加工して、優位な立場で先進国へ輸出できた、加工貿易立国としてのビジネスモデルの浮沈であり、国土も狭い、資源も乏しい島国の「成長の限界」ともいえるのでしょう。そんななかで、昨今は「豊さとはなにか」「幸せとはなにか」が問われています。

振り返ってみれば、今まで私たちが「富」と考えていたものは、「自然を削り取ったモノ」であり、「弱者にしわ寄せして得たモノ」、そして「将来へつかけを回して前借りしたモノ」でした。だからこそ「環境破壊」が、「経済格差」が、そして「放射能汚染」が広がっているのです。そんな社会構造では、誰かの儲けは誰かの損であり、誰かの幸せは、誰かの不幸でしかありません。それでも私たちは、「経済成長」を望むのでしょうか。

裏返してみると、「自然を削り取らない」「弱者にしわ寄せしない」「将来へつかけを回さない」生産こそが、持続可能で平和な社会と両立できる「富」の創造といえます。私たちは、その解を「循環型有機農法」に見出しました。どこからも奪わない「豊さ」の源泉は太陽であり、自然の恵みを再生可能な範囲で分け与えることが、誰をも虐げない「幸せ」に違いありません。そこで農力向上委員会は、持続可能な生活の方向性を提示し、有機的な農生活を志す諸団体を支援すべく、「りかるち（=RECUITIVATION=ちいき&じぶん再耕）農力向上大作戦！」を展開します。

2) メーリングリスト登録

りかるち農力向上大作戦！では、安近通な（安く近場に通える）有機縁農生活コミュニティ（Organic Farming based Community）の首都圏一円での展開を目指して、地域単位のメーリングリストを開設します。今のところ、reculti-YOKOHAMA だけですが、皆さまもこちらに追加登録させて頂き、情報交換が成立するようになったら、三多摩、千葉、埼玉、山梨、・・・等々に拡げていこうと考えています。積極的な参加を期待しています。

3) 公式サイト掲載

この6月末に金子美登さんや、塩見直紀さん、大和田順子さんら豪華執筆陣による『農力検定テキスト』が都市生活者の農力向上委員会の編集で出版されます。その受け皿として現在、公式サイト『りかるち：農力向上委員会』の開設準備を進めています。安近通な有機縁農生活コミュニティ紹介コーナー『ちいき&じぶん再耕プロジェクト：チームりかるち』では、安近通な農都交流を手掛ける諸団体の活動を積極的に掲載し、有機縁農生活コミュニティの活性化に貢献したいと考えます。ぜひ情報提供&積極活用にご協力ください。

4) 農力検定テキスト出版披露会

上記の出版に際して以下のとおり特別講座を開催します。ぜひプレゼン or 受講の予定をお願いします。

* 催名：農力検定特別講座「今なぜ都市生活者に農力向上が必要か」

- *日時：7月11日(水) 17:30～18:45
- *場所：ちよだプラットフォームスクエア505会議室
- *定員：申し込み先着50人
- *参加費：1000円
- *内容：執筆者＆関係者のリレートーク＆有機農実践者のプレゼン
- *備考：終了後に出版披露交流会を行います。@2000～3000円

5) 環境基金助成への協働申請

6月中旬締め切りで三井物産環境基金活動助成の募集が行われています。都市生活者の農力向上委員会では、以下の活動について申請準備を進めています。協働団体として参画できないか、ご検討頂ければ幸いです。

- *安近通な(安く近場に通える)有機縁農生活コミュニティの関東一円展開
- *首都圏近郊を対象とした耕作放棄地再生大賞の実施
- *実地経験を重視するオーナーシップ制農力検定の創設

6) りかるち Drinks (仮称)

8月以降も「ちよプラ」をベースに月例で有機縁農生活コミュニティの参加者募集＆交流の場を提供できればと思っています。団体アピールのみならず、運営スタッフとしても参画をお願いします。

7) 土と平和の祭典@日比谷公園でのアピール

11月18日(日)に行われるので、りかるち農力向上大作戦！としてブース＆ステージでアピールします。

8) りかるち有機縁農参加券

飽食三昧をしてしまった償いなどに有機農家をお手伝いして贖罪？するオーガニング・オフセットを提案します。りかるち Drinks などでも配布して、普及に努めます。(ってことで縁農者を増やす魂胆です)

番外) 耕作放棄地再生実証圃募集

長崎県は佐世保で生ごみリサイクル元気野菜づくりに取り組んでいるNPO 法人大地といのちの会吉田修道さん(生ごみ先生)が首都圏近郊で緑肥の鋤き込みによる耕作放棄地再生の実証現場を探されています。この6月18日(月)/19日(火)にはまた上京されるので、提供できる団体があれば指導に行かれるとのこと。候補地があればご相談ください。

*生ごみ先生のおいしい食育・土づくり：http://www.blog-headline.jp/agriability/2012/05/post_45.html



以上